



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2015 6



4月下旬、5年に1度のNPT再検討会議がニューヨークの国連本部で開催されました。会員生協からは、コープこうべ、神戸医療生協、尼崎医療生協が「核兵器廃絶のためのニューヨーク行動」に参加。参加者10,000人がユニオンスクエアから国連近くまで約2時間のピースパレードを行ないました。ニューヨークの市街地で、市民へ署名を呼び掛けながら絵手紙や折り紙などのグッズを手渡し、核兵器廃絶を市民に訴えました。(関連ページP.5)



甲南女子大学生生活協同組合 専務理事

塩田 恵美
(しおた・えみ)

常に、新たなステージへ

甲南女子大学生生活協同組合は、1996年7月1日に設立総会を開催し、もうじき20年を迎えようとしています。当時の資料を読み解くと、設立活動は93年から始まっており、学生自治会である清光会が、生協設立を活動目標のひとつに置いていました。また、大学側でも検討され、近隣の甲南大学生協からの協力もあり、設立に至っています。このような設立活動を行っていた最中に起こった95年の阪神淡路大震災により、一時活動の停滞もありましたが、当時の甲南大学生協の対応の早さを目の当たりにし、大学生協の必要性を改めて認識することになりました。

震災によってより強く感じるようになった「本学をより便利で快適なキャンパスライフの場に」という目的のもと、取り組みを広げました。書籍購買事業からスタートし、2年後には食堂事業を開始、サービスの充実に努めました。1998年から2006年は学生数が減少の一途を辿っており、生協の事業も苦しい状況となりましたが、大学は社会の変化、学生の希望に添えるべく新学科や新学部を設置してきました。生協もその変化に対応すべく、POSレジや新しい発注システムの導入、組合員証のICカード化なども進めてきました。

そして2014年度、組合員の声を取り入れながら学生利用の核である書籍購買部店のリニューアルを行い、店舗をキレイに、より利用しやすい環境が実現しました。「品格と国際性を備え、社会に貢献する高い志を持つ女性を育成する」という大学の使命に生協の立場からも貢献すべく、リニューアルの際にはさらに事業の幅を広げ、海外旅行業務や生協独自の語学研修プログラムの展開も開始しています。

「大学の期待に応えられる生協」、「多様化する学生生活に寄り添い、ともに変化できる生協」として、魅力ある甲南女子大学づくりに生協の立場から貢献しようとする姿勢は、設立当初から変わりません。大学は開学50周年を迎え、甲南女子学園としては2020年に100周年を迎えます。まだまだ未熟で発展途上の生協ではありますが、「今」必要な生協であるために、常に新しいステージを目指します。

生協の仲間であるみなさまからのご支援を引き続きお願いいたします。

CONTENTS

2. 想点	5. 単協通信 神戸医療生活協同組合／ 兵庫労働共済生活協同組合
3. 「広島被爆ピアノ平和コンサート」のご案内／ 単協通信 生活協同組合コープこうべ	6. 協同組合のかけ橋
4. 単協通信 生活協同組合連合会コープ自然派事業連合／ 全国大学生生活協同組合連合会 大阪・兵庫・ 和歌山ブロック	7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
	8. 「第93回国際協同組合デー・兵庫県記念大会」のご案内／ 「労働安全衛生研修・学習会」のご案内／ 県連日誌／編集後記

広島被爆ピアノ 平和コンサート

2015年8月23日(日)

日時 13時開場 / 13時半開演
場所 兵庫県民会館9階けんみんホール
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
TEL 078-3211213(代)

入場無料
(招待券が必要です)

戦後70年。原爆の爆風で傷つきながらも永い歳月を乗り越えた「被爆ピアノ」が平和を奏でるコンサートを開催します。みなさまのご参加をお待ちいたしております。

出演予定



ピアノ
森須 奏絵



ソプラノ
大島 久美子

矢川 光則
(矢川ピアノ工房)

ジュニアコーラス・ティンカーベル
& レインボージュニア

“招待券”のお申込み方法【ご招待人数は300名です】

「お名前・年齢」・「〒(郵便番号)・ご住所」「電話番号」・「ご同伴者(2名まで)のお名前・年齢」「ご利用の生協名」を明記のうえ、【ハガキ】【FAX】【メール】にて、以下の方法にてご応募ください。

ハガキでのお申込み 〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3 県民会館4階
兵庫県生活協同組合連合会「広島被爆ピアノ平和コンサート」係 まで

FAXでのお申込み 078-392-2059 メールでのお申込み hyogo@kobe.coop.or.jp

♪お子様も一緒にご参加いただけます。 ♪応募者多数の場合は抽選。
♪発 表: ご当選の方には7月末日までに招待ハガキにてお知らせします。 個人情報招待券発行以外には使用いたしません。

締め切り

7月2日(木)
当日消印有効

【お問い合わせ】兵庫県生活協同組合連合会 TEL 078-391-8634 FAX 078-392-2059 メール hyogo@kobe.coop.or.jp

主催: 兵庫県生活協同組合連合会 後援: 神戸市教育委員会・神戸新聞社

生活協同組合コープこうべ

支援の思いを募金に

「ネパール大地震緊急募金」

めに役立てられます。

(通信員 榎原晶子)

4月25日、ネパール中部を震源地とする地震が発生しました。コープこうべは4月29日から「ネパール大地震緊急募金」を開始。163の全店舗では募金箱を設置するとともに宅配事業では商品情報紙「めーむ」で募金を呼びかけました。

4月30日にはシア(神戸市東灘区)でコープ委員と職員が募金を呼びかけ、多くの善意が寄せられました。組合員からは「報道を見るたびに胸が痛みます。1人でも多くの命が救われるよう祈ります」という声も聞かれました。

募金は(公財)日本ユニセフ協会、CODE海外災害援助市民センター、(公財)PHD協会に贈られ、被災地への支援に役立てられる予定です。またコープこうべ災害緊急支援基金(ハート基金)から、被災地支援のために100万円を拠出しました。この拠出金は、CODE海外災害援助市民センターを通して被災地の現状を把握し、必要とされる支援を届けるた



シアでの集中取り組みの様子

単協通信

「コープ自然派パン工房」

兵庫県豊岡市の産直米「コウノトリ育むお米」の米粉をパンに使用することで、農水省の第六次産業の助成対象として認められ、2014年2月「パン工房」建設に着手。同年6月に完成し、生産を開始しました。

コンセプトは、国産原料（一部国外のオーガニック原料）を使用。添加物を用いず、すべてのパンに米粉を使用し、手作りにこだわったパンを製造しています。リーズナブルな価格で、焼成の翌日に組合員お届けしています。



昨年度の供給実績は82,691千円（税抜）

368,000食

今後も組合員の要望に応じて新規商品の開発に力を注いでいきます。

商品ラインナップ

- ・ 食事パン 山食パンなど、約十品目
- ・ ハード系 ライ麦パンなど、二品目
- ・ 菓子パン系 シュトローレンなど、約五品目
- ・ その他 新じゃがバターベーコンなど、二品目

特に、もちりした食感の山食パンが好評で、供給の五割を占めています。

（通信員

西本亮）



スタートダッシュセミナーを開催しました

5月9日(土)～10日(日) 大阪市東淀川区の大阪コロナホテルで組合員活動の充実と大学生協の発展のために、様々な大学から集まって学びあう「スタートダッシュセミナー」を開催しました。当日は兵庫県下の7大学・1高専を含む大学生・高専生198名の参加がありました。参加者の大半は新入生で、先輩が企画担当やグループリーダーとして参加しました。

1日目は、協同組合の成り立ちや大学生協の変遷、学生委員会の役割・活動を学びました。2日目は、実際の活動事例の交流やこれから参加者がどのように活動していくかを考えました。参加者は2日間を通して、協同組合や大学生協の想いを知ったり、学生委員会の活動の面白さを感じたりしました。また、学生委員会が自分の大学だけでなく他の大学にもあり、地域にたくさん仲間がいることを知り、他の大学の学生とのつながりもできました。まさにこれから活動をしていく上での

「スタートダッシュ」をきることができました。

学生が活動することは大学生協になくてはならない魅力のひとつです。組合員活動を充実させていくことと大学生協が発展していくことはつながっていると思います。大学生協の組合員は4年でほぼ入れ替わってしまいます。想いを次の代へ引き継ぎなければ、すぐに活動はなくなってしまう。これからも、協同組合、大学生協の想いを広げていかなくはなりません。



2日目終了後の記念撮影

（通信員 田中喜陽）

神戸医療生活協同組合

神戸から世界へ 届け反核の願い

今年には第二次世界大戦終戦から70年、阪神淡路大震災から20年など、まさしく節目となる年です。このたび、5年に1度のNPT再検討会議がニューヨークの国連本部で開催され、その成功の為に代表団として「核兵器廃絶のためのニューヨーク行動」に、神戸医療生協から2名が参加しました。NPTとは「核不拡散条約」の略で、1970年に発効した核兵器の拡散を防止するための国際条約のこと。私達は代表団として、国内で集められた「核兵器廃絶」を願う署名をニューヨークの国連本部まで届ける責務を与えられました。集まった10,000人がニューヨークの市街地で2時間の署名行動をしながらのピースパレードを行いました。署名やパレードで感じたことは、沿道に並ぶお店の従業員や道行く人たちが代表団に話しかけたり、興味を持ってくれたことが、とても嬉しかったです。国連本部までの道のりは長かったです。633万6,205筆もの署名を提出できたことに、このうえない達成感を感じました。

今回のニューヨーク行動で特に大きかったのは、署名やデモに対しての考え方が変わったことです。日本国内ではどちらにも関心を持ってもらえないことが少なく、「どれほどの



ピースパレードの前にユニオンスクエアに集まり国際共同行動集会に参加

された思いがしました。その姿は自分が信じたものや、納得できないことに対して恐れず声をあげる。勇気をもって「核兵器なくせ」と声をあげることが国連のなかで多数の声を作っています。また、今まで日本中心に考えていた核についての問題も、「世界のなかでどのような位置づけがされているのか」や「日本の立ち位置」についてなど、多角的なものを見方をすることで、視野を広げることができました。

今回の貴重な経験を活かして、今後も夏に始まる「原水禁世界大会」や「平和行進」など、平和や社保に関する活動を主体的に進めていくことが、ニューヨークに代表団として行かせていただいた私たちの使命だと思っています。

(通信員 中西一真)

兵庫労働共済生活協同組合

阪神・淡路大震災20年「防災・減災標語コンテスト」の表彰式を開催しました

全労済兵庫本部では、震災の記憶を風化させず、広く県民の防災・減災意識を喚起する事を目的に「防災・減災標語コンテスト」(応募期間：2014年12月1日～2015年3月11日)を実施し、4月29日に表彰式を開催しました。応募総数1,051作品の中から小学生・高校生・大学生一般部門から最優秀賞1点、優秀賞5点を選出しました。最優秀作品は「ふだんから、家ぞくで話そうもしものこと」(小学生部門)、「備えよう未来の家族と自分の



最優秀賞・優秀賞のみなさま

ために」(中高生部門)、「この街でもらった教訓受け継ぐ使命」(大学生一般部門)です。今後も震災の体験を風化させることなく、災害に備える重要性を伝え、広めていきます。

兵庫県交通安全協会に交通安全グッズ(反射材)を贈呈しました。

全労済兵庫本部では、春の全国交通安全運動の一環として、夜間の自転車乗車中の交

通事故防止のための交通安全グッズ(反射材)5,000個を5月7日に(一財)兵庫県交通安全協会へ贈呈しました。県内各地で開催される交通安全啓発イベントで配付される予定です。

(通信員 中川純一)



贈呈式
左、全労済兵庫本部 菊池専務執行役員
右、兵庫県交通安全協会 大畑専務理事

協同組合のかけ橋

JF (一財) 兵庫県水産振興基金

～香美町の「魚(とと)条例」は一周年～
記念フェスティバルを開催！



美方郡香美町（浜上 勇人町長）では、水産業の消費拡大と地域経済の活性化を目的に、全国で初めてとなる「魚食の普及の推進に関する条例」（通称：香美町「とと条例」）が昨年4月に制定されました。そこで条例制定1周年を記念し、4月18日（土）に「ととフェスティバル」を開催しました。会場となった香住水産加工業協同組合上屋にはハタハタ・カニ・ホタルイカを使った加工品をはじめ、地元産野菜などを販売するブースが立ち並び、ニギス団子汁などの無料振舞いも行われ、朝早くから大勢の人で賑わいました。また、「ホタルイカ つ香美ましよう」として、参加者が200g・300g・500gのクジを引き、決まった重さにどれだけ近づけるかを競うイベントも行われました。ピタリ賞（±5g）となった方にはギネスブックならぬ「魚ネスブック香美技認定書」が送られ、会場は大いに盛り上がりました。

“とと”にちなんで10+10で毎月20日を「魚の日」とし、同町の漁業者、水産加工業者らがボランティアで取り組む「とと活隊」が料理教室など魚食普及に関わる様々な活動を行っており、今後の展開に注目が集まっています。



干し魚も美味しく焼きました



「ホタルイカ つ香美ましよう」の様子

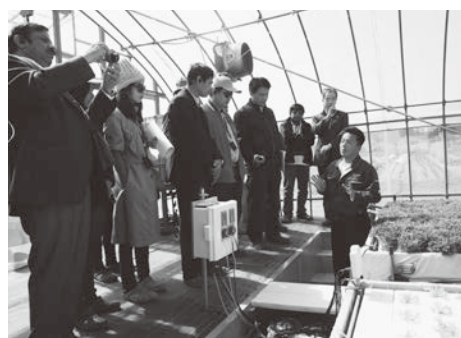
JA 兵庫中央会

アジア諸国の
農協リーダー育成のために
ICA 研修生を受け入れ

（一財）アジア農協振興機関（IDACA）は、国際協同組合同盟（ICA）アジア・太平洋地域事務局と協力し、アジアの開発途上国における農協や農家グループの活性化を担うリーダーを育成する研修プログラムを実施しました。ブータン、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ネパール、ベトナムの6カ国から10人の研修生が、3月24日から27日まで、兵庫県内のJA等で研修を行いました。

24日はJA兵庫中央会で、本県農業と農協の概要、本県JAグループの役職員教育等について研修しました。参加者からは、役職員研修にかかる費用や政府助成の有無などの質問を受けました。

また、農業現地研修として、25日はJA淡路日の出管内で野菜・花きの農家を、26日はJA兵庫南管内でJA出資法人と、6次産業化に取り組む女性グループを視察しました。



JA兵庫南出資法人（株）ふぁーみんサポート東はりまで水耕栽培施設を視察するアジア諸国の研修生



JA淡路日の出の石田正組合長（左）へ感謝の言葉を述べるディン ホン タイ氏



最近の消費生活相談事例

インターネット情報サービスの 不当請求トラブル

事例

スマートフォンに「出会い系サイトの退会処理ができていない。利用料金が未払いのため連絡するように」というメールが届いた。今日の正午までに連絡がなければ訴訟手続きを行う、といった内容が書かれていた。有料サイトを利用した覚えはない。どうしたらいいか。

【アドバイス】

インターネット情報の不当請求トラブルが増加しています。事例のように利用した覚えのない料金を請求される、メールでの架空請求や「無料のアダルトサイトをクリックすると登録完了となり料金請求画面が表示された」というワンクリック請求などが目立っています。

不当請求には様々な手口がありますが、共通しているのは、あたかも契約が成立したかのように装って不安をあおり、消費者から連絡をするように仕向けている点です。

画面上に「退会手続きはこちら」「相談窓口」など、対応窓口の電話番号やアドレスなどを表示して、電話やメールをさせようとするものがあります。「期日までに連絡するように」などと書いてあっても、絶対に連絡してはいけません。連絡をしたために、事業者からの請求がエスカレートしたケースもあります。「訴訟を起こす」「弁護士対応になる」など不安をあおることが書かれていても、利用した覚えがなければ決して支払わず、無視しましょう。支払の義務があるかどうか判断できない場合や心配なときは、最寄りの消費生活相談窓口にご相談ください。

(兵庫県生活科学総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓



兵協連だよりをご覧のみなさま。こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

すっかり、暑くなりましたね。あの寒かった冬はどこへやら。空の色や雲の形、草木の色や空気の匂い、すっかり移り変わっていることに、やっと気付いたのでした。

さて、先月号では、ひょうご消費者ネットがホームセキュリティー業者の2社に対して、中途解約金の契約条項の改善を申し入れたところまでお話ししました。今月号では、その続きをお話したいと思います。

申入れに対して、各会社から回答がありました。その内容はというと、1社は「個人のお客様に対しては中途解約金を請求しないものとしている」ので「問題ない」というもの。もう1社は、「中途解約金の金額は妥当である」というものでした。双方の回答を検討し、後者の会社につき、「消費者契約法第41条第1項に基づく請求書」を送付しました。この書面は「このまま改善しないと訴えを提起します」という内容のものです。すると、後者の会社も「該当の契約条項を削除する」という回答が返ってきました。

本件は、裁判を経ずとも、契約条項が改善されることとなりました。これも一つの差止請求活動の成果なのです。

今月号もお読みいただき、ありがとうございます。それでは、また次回もお楽しみに。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

「第93回国際協同組合デー・兵庫県記念大会」のご案内

国際協同組合デーは、世界中の生協や農協、漁協、森林組合など協同組合にたずさわる人々が心をつにしてその発展を願って祝う日です。兵庫県では毎年7月の第1金曜日に各協同組合の関係者が集まって記念大会を開催しています。

今年は7月3日(金)に兵庫県民会館で兵庫県記念大会を開催し、「地域における協同組合の役割」をテーマに実施します。ご参加お待ちいたしております。



<プロフィール>

1934年京都府生まれ。京都大卒業後、検事任官。東京地検特捜部ではロッキード事件捜査を担当。91年に退官、弁護士登録。さわか法律事務所及びさわか福祉推進センター(95年4月財団法人さわか福祉財団となり、2010年4月に公益財団法人化)開設。

「高齢社会NGO連携協議会」共同代表、厚生労働省の高齢者介護研究会座長などを歴任。近著に「初めて部下を持つあなたへ」(こず書房)「共助」のちから(実務教育出版)など。

■と き：2015年7月3日(金) 13:30-16:00

■と ころ：兵庫県民会館9階 けんみんホール

神戸市中央区下山手通4-16-3
TEL(078)321-2131

■内 容：Ⅰ部 記念式典
Ⅱ部 記念講演
「地域福祉と協同組合の役割」
講 師 堀田力さん

■参加人数：350人(入場無料・先着順)
*事前にお申し込みください。

■主 催：兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫 JCC：兵庫県生活協同組合連合会・
兵庫県農業協同組合中央会・兵庫県漁業協同組合連合会・兵庫県森林組合連合会)

■お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会
電話：078-391-8634 FAX：078-392-2059

兵協連 第6回「労働安全衛生研修・学習会」のご案内

事業・活動と職場の労働安全衛生などの大切さについて研修会を開催いたします。働きやすく、安全な職場環境のあり方について、実例をあげながら解説いただきます。役職員の皆さまのご参加をお待ちしています。

労働安全衛生研修・学習会

日時：7月31日(金) 14時30分～16時30分

会場：兵庫県民会館 9階「901」

テーマ：「労働安全衛生の基本と転倒災害、
熱中症防止に向けて」

対 象：会員生協・団体の役職員



講師：茶園 幸子氏
(社会保険労務士)

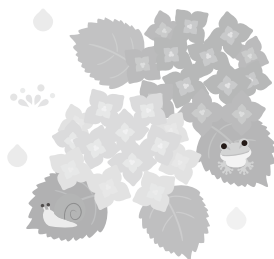


昨年の学習会の様子

お申し込み・お問い合わせ 兵庫県生協連 TEL078-391-8634

先日、兵協連事務局3名で会員生協の佐曾利消費生活協同組合さんを訪ねました。宝塚市北部の小高い山に囲まれた静かな上佐曾利地区は「ダリア」のまち。夏と秋に開花し、毎年10月の第3土・日に「ダリア花まつり」が開催されています。2年前の「ダリア花まつり」では約2万本が咲き誇るなか、顔の大きさほどあるダリアを摘み、楽しみました。でも、組合員さんが描かれた店舗シャッターの「ダリア」の花は、いつでも出迎えてくれます。☆私たちが訪問してすぐに「羽のツバメがバサバサと店内に飛び込んで来ました!天井を駆け巡り、あ然とする私たちのそばで職員の方が「電気消して!」「入口開けて!」とテキパキと対応。無事、ツバメは青空に向かって戻って行ききました。よくあることらしく、木の温かみを感じる談話コーナーの展示ギャラリーで、ホッとひとときを過ごしました。帰りは、地元でとれたお米(5キロ)を購入。担いで電車で帰りました。(中尾)

編集後記



(県民会館 パルテホール)
第1回理事会

6月23日(火) 兵協連第65回通常総会・

6月1日(月) 兵協連第7回理事会
(県民会館 1201)

県連日誌